

富里市住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金＜令和6年度＞

(令和5年度からの変更点…赤字が変更点になります。)

補助対象設備の種類	補助金の額・要件	
	令和5年度	令和6年度
家庭用燃料電池システム (エネファーム)	●補助額:停電時自立運転機能有 上限10万円	左に同じ
定置用リチウムイオン蓄電システム	●補助額:上限7万円 ■要件:県の共同購入支援事業により設置したものも可	左に同じ
窓の断熱改修	●補助額:補助対象経費の1/4 (上限8万円)	●補助額:補助対象経費の1/4 (上限8万円) ※キッチン、階段、踊り場、トイレ、玄関、浴室等を補助対象に追加
	—	●補助額:補助対象経費の1/4 (上限8万円×改修戸数) ■要件:補助事業を実施するものが管理する共同住宅又は長屋
太陽熱利用システム	●補助額:上限5万円 ■要件:自然循環型は不可	補助対象設備から除外
電気自動車 プラグインハイブリッド自動車	●補助額 太陽光+V2H併設:上限15万円 太陽光併設:上限10万円 ■太陽光発電設備を併設すること。	●補助額 太陽光+V2H併設:上限15万円 太陽光併設:上限10万円 ■太陽光発電設備を併設すること。 ※プラグインハイブリッド自動車の燃料の種類が「軽油・電気」の車種を補助対象に追加 ※導入(納車)後の申請も可
V2H充放電設備	●補助額:補助対象経費の1/10 (上限25万円) ■要件:太陽光発電設備と電気自動車を併設すること。	左に同じ
集合住宅用充電設備 (急速充電設備・普通充電設備・蓄電池付急速充電設備・充電用コンセント及びコンセントスタンド)	●補助額: 住民のみ利用可能:国が実施する補助金の額の1/3(1基当たり上限50万円) 住民以外も利用可能:国が実施する補助金の額の2/3(1基当たり上限100万円)	●補助額: 住民のみ利用可能:国が実施する補助金の額の1/3(上限50万円×設置する基数〔複数口は口数〕) 住民以外も利用可能:国が実施する補助金の額の2/3(上限100万円×設置する基数〔複数口は口数〕)
集合住宅用充電設備 住民の合意形成のための資料	●補助額:上限15万円	左に同じ

※設置工事・導入前に申請(電気自動車・プラグインハイブリッド・集合住宅を除く)

※令和7年3月10日までに実績報告書を提出